

<ご意見・ご質問>コロナ対策について

「新型コロナウイルス」感染対策で、県下の図書館は全体としてどう取り組んでいたのでしょうか。第2波、3波も予想されるなか、またきわめて大きな影響を全国的・全世界的に与えている状況の下で、県下の図書館の状況・対応をつかみ、教訓として記録しておくことは大事だと考えます。同時に県図書館協会としての対応はどうであったのか、何か指示や注意点などだされたのでしょうか。

<協会の回答>

このたびは議案に対しますご意見、ご質問をお寄せいただきありがとうございます。

さて、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策に関するおたずねでございますが、県下へのまん延が顕著になってまいりましたこの4月以降、会長、理事長（館長）、常務理事（担当課長）、事務局で、何回か対応を協議し取り組んでまいりました。

長野県図書館協会は本会の活動のほか、公共図書館部会、小中学校図書館部会等の部会でも活動しておりますが、それぞれの取り組み状況は次のとおりです。

公共図書館部会の活動としましては、公共図書館をグループとしたメーリングリストを整備し情報交換の迅速化を図るとともに、「休館中の図書館の取組みに関するアンケート」を実施しまして、Web予約の活用、お勧めブックセットの貸出（テイクアウト）、ホームページやSNSの活用、動画・CATV・ラジオの活用、そして、飛沫感染防止対策、消毒・除菌、マスク・検温器、滞在時間制限等、県下の図書館の取組みを集約し、その結果をメール等により全館へ配信し、情報の共有化を図ってまいりました。

小中学校図書館部会では、休校中・再開後の対処を記録し共有することと、これからの学校図書館に何が必要かを探るため、ICT環境を含めた学校図書館の現状を調査する予定です。

調査結果とその分析は来年度の図書館大会で発表・協議し、何らかの指針として示すことを目指しています。

本会の10月の長野県図書館大会につきましても検討を重ねておりまして、「ICT活用と災害に負けない図書館づくり」を大会テーマとして、コロナ対応として県下の先進的な取り組み、実践を発表してもらい、情報を共有し、教訓化していくことを計画しています。

このように、県下の公共図書館部会、小中学校図書館、大学図書館等の施設会員に対しましては、コロナ禍への対応や情報共有に努めてまいりましたが、個人会員さんへの情報提供は不十分でした。この点については反省し、今後改善に努めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

まだまだコロナ禍への対応が求められており、これからも県下図書館における情報発信・共有、記録化に努めてまいります。

なお、今回寄せられました会員様からのご提言や質問とそれに対する図書館協会の回答については、図書館協会ホームページ等でご報告させていただきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

＜ご意見・ご質問＞令和2年度事業計画について

- ・10頁 3－(1) 図書館のICT活用の実態調査では、ハード・ソフトの整備状況、社会的なインフラ整備の状況なども踏まえて分析していただきたいと思います。
- ・サービスを受ける側の年代等によっても、求めるものに違いがあるように感じています。

＜協会の回答＞

ICT活用実態調査ですが、簡単に考えていましたが、併設や近隣の施設も関係してくるのでなかなか面倒なようです。

分析するとなると、機器・ソフトの整備状況を細かく尋ねるよりも例えば、WEB会議ができるかとか、イベント・事象を想定しての設問がよいのかもしれませんが。

実施の際はまたご協力お願いします。

＜ご意見・ご質問＞令和2年度公共部会予算(案)について

14頁 備品費 MAXHUBの利用目的と備品調達のための借入れがあるように見受けられますが、費用の動きをご説明いただきたいと思います。

＜協会の回答＞

MAXHUBについてですが、昨年度のうちに県の元気づくり支援金に申請をしておりました。

本年度採択・交付決定を受けたのですが、支援金の支払いは事業実施後であり、協会の予算・自己資金のみでは運転が難しいことから、借入れを行うことにしたものです。

借入先は県からも紹介（強制ではなく）のあったNPO夢バンクに申し込んでいます。八十二銀行にも相談したのですが、利率の差が大きいようで、夢バンクにしました。

事業実施後、支援金が入金されたら貸付金を返還する予定です。

なお、MAXHUBは、支援金申請にあたって、塩尻市立図書館に置いて活用してもらおうという計画でしたので、当面そのようにさせていただきたいと思います。移動できますので、必要により各館に持っていくことも想定しています。貸し借りのルールみたいなものを検討中です。